

有給就業体験
理解を深めて 徳島市

企業向けセミナー

インターシップ(就業体験)とアルバイトを組み合わせた有給の就業体験「バイターン」について企業などに理解を深めてもらうセミナーが8日、徳島市のときわプラザ(フレアとくしま)であった。

県内企業の人事担当者や学校の就職担当者ら約70人が参加。バイターンを支援する「シェアするココロ」(横浜市)の石井正宏社長が講演し「実際に働く姿勢を見て正社員に登用するかどうかを判断できる。雇用のミスマッチの低減につながる」と訴えた。

西精工(徳島市)総務課の井出貴大さんは「有給の就業体験になると学生もより真剣に業務を学ぶのではないか。バイターンの導入を検討してみたい」と話していた。

(岡本直也)